

様式 2

申請者用チェックリスト

* 申請者は以下の 1 または 2 を選び、項目を満たしているかをチェックしてください。
尚、1 の場合には「適合すると判断した根拠」を記入してください。

1. 簡易審査チェックリスト

項目	チェック
1. 所属長の承認印が押された審査依頼状が添付されている。	
2. 事例研究または無記名自記式質問紙調査である。	
3. 研究協力の自由意志が保障されている。	
4. 研究協力内容のリスク・負担が非常に少ない。	
5. 対象者へのインフォームド・コンセントが適切である。	
6. 対象者の匿名性が確保されている。	
簡易審査に適合すると判断した根拠	

2. 通常審査チェックリスト

項目	チェック
1. 所属長の承認印が押された審査依頼状が添付されている。	
2. 研究目的・計画・方法が妥当である。	
3. 研究の対象者の人権が擁護されている。	
(1) 対象者を確保する方法が適切である。	
(2) 対象者の人権を脅かす様々な可能性が明記されている。	
(3) 対象者への身体的、心理的なリスクが明記されている。	
(4) 対象者へのリスクを最小限にとどめる具体的な方法が明記されている。	
4. 対象者へのインフォームドコンセント(IC)の方法が適切である。	
(1) IC をいつ、だれが、どのように行うのかが明記されている。	
(2) 研究の説明内容が適切である。	
(3) 承諾 / 同意文書の内容が適切である。	
(4) 承諾 / 同意をとる方法が適切である。	
5. 個人情報保護を確保する体制が整えられている。	
(1) 匿名性が確保されている。	
(2) 情報の漏洩防止対策がとられている。	
6. 研究の透明性が確保されている。	
(1) 研究方法が具体的に明記されている。	
(2) 研究結果の公表について明記されている。	
(3) 研究資金受けている組織と研究者との関係が明記されている。	
7. 研究組織が適切である。	
(1) 研究代表者が決められている。	
(2) 研究分担者の役割が明記されている。	
8. 研究フィールドが明記されている。	
9. 対象者への謝金について明記されている。	